

第8回尾張旭市子ども・子育て会議会議録

- 1 開催日時
平成27年2月25日（水）
開会 午後3時00分
閉会 午後4時30分
- 2 開催場所
尾張旭市役所 5階 第二理事者控室
- 3 出席委員
林陽子、小川百合子、石原靖章、加藤多美、秋田啓子、田中善廣、藤田佳代、
村瀬美根代、竹門宏美、秋山浩二、恩田路子、高橋秀雄 12名
- 4 欠席委員
金森俊輔、近藤信綱 2名
- 5 傍聴者数
0名
- 6 出席した事務局職員
健康福祉部長 若杉浩二、健康福祉部次長 吉田和仁、
こども課長 萬谷久幸、こども課指導保育士 松浦琴美、
子育て支援室長 阿部智晶、こども課長補佐兼こども未来係長 松原芳宣、
こども課こども係長 浅野哲也、こども課保育係長 加藤貴之、
こども課こども未来係 田中友美子、株式会社ぎょうせい主任研究員 馬場敏
- 7 議題等
 - (1) 事業計画案について
 - (2) 利用定員の設定について
- 8 配布資料
 - ・尾張旭市子ども・子育て支援事業計画（素案）に対する意見と市の考え方について・・・資料1-1
 - ・答申書（案）・・・資料1-2
 - ・事業計画の表紙と裏面（案）・・・資料1-3
 - ・尾張旭市子ども・子育て支援事業計画（案）・・・資料1-4
 - ・利用定員の設定について・・・資料2
- 9 会議の要旨

健康福祉部長	<p>皆さま こんにちは。</p> <p>本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、ただ今から、第8回尾張旭市子ども・子育て会議を開会させていただきます。</p> <p>わたくしは、健康福祉部長の若杉と申します。どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>なお、本日の会議につきましては、お手元に配布しております次第に従い進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>現在の出席委員は11名でございますので、過半数の出席をいただいております。従いまして、本会議条例第6条第2項の規定による定足数に達しております。</p> <p>なお、この会議は公開しておりますので、会議の傍聴席を設けてございます。また、会議録を作成し、市ホームページ等で公表をまいりますので、委員の皆さまにはご了承いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>それでは、本日の議題に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(資料の確認)</p> <p>それでは、以降の会議の進行につきましては、議長であります林会長にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。</p>
会長	<p>それでは、これより、私が会議を進めてまいりますので、委員の皆さまよろしくお願いいいたします。</p> <p>それでは、早速議題に入りたいと思っております。</p> <p>議題(1)は、事業計画の案に関して、でございます。</p> <p>まずは、パブリックコメントの結果について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	(資料1-1により説明)
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>この件に関して、何かご意見等はございますか。</p>

高橋委員	いくつか意見があります。まず、意見1で「女性の賃金が一般的に低く抑えられている」とありますが、実際に妥協もできない中で、そういう事情はあると思います。ここでは、要保護という観点からの考え方となっていますが、賃金の話であれば、男女共同参画という方面でも取り組みを進めていただきたいと思います。また、意見5では「作り直す必要がある」とありますが、そこまでしなくてもいいのではないかと思います。しかし、実際の待機児童をどう捉えるかというのは、いろいろと考えなければなりません。育児休業中のものを待機児童の数に入れている自治体と、入っていない自治体がありますが、尾張旭市はどう捉えているかをお聞きしたいです。
会長	今いただいたご質問に対して、事務局からお願いいたします。
事務局	待機児童の考え方につきまして、意見5にあります求職中の保育所入所希望者をカウントするというものは、現在は国からは示されておりません。しかし、平成27年度の待機児童の報告をする際には、求職中の保育所入所希望者もカウントするとの事で示されております。今後は、求職中の待機児童も数に含んで公開することになると思います。
会長	ありがとうございます。意見1についてはいかがでしょうか。
事務局	賃金という視点、ワーク・ライフ・バランスという視点からはその通りだと思います。従いまして、市の男女共同参画の計画もありがとうございますので、子ども・子育て支援事業計画では詳しくは載せておりません。
会長	その他はよろしいでしょうか。 それでは、この回答内容が今後、市のホームページで公表されると思いますので、よろしくお願いします。 続きまして、答申案について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料1-2により説明)
会長	ありがとうございました。 ただ今の事務局の説明について、ご意見等はございますか。 1 審議事項、2 審議結果はこの通りで触りようがありませんが、3 当会議からの意見等についてはこれまで委員の皆さまからいただいたご意見を参考に事務局で取りまとめております。その辺りをご確認していただきたいと思います。資料1-1の説明で触れていただいた部分もございますが、計画案を作っていたときの情勢よりも、もしかしたらスピードアップして事態が進むかもしれないということが読み取れます。
高橋委員	答申自体はこれで良いと思います。

会長	<p>どのように実効性のあるものにするかというのが私たちの責任だと思います。これでよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次回の会議では、計画書について、答申を予定しておりますので、本日いただいた意見を参考に調整をして、答申書としたいと思いますので、よろしくお願ひします。</p> <p>続きまして、事業計画書の表紙と裏面について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	(資料1-3により説明)
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>表紙について、2つの案が示されましたが、事務局ではどちらかの案を採用したい思いがあるようですので、ご意見等ございましたらお願いします。</p>
事務局	案1と案2を組み合わせるといった観点でも、ご意見をいただきたいと思ひます。
会長	最初のタイトル「尾張旭市子ども・子育て支援事業計画」は、案1も案2も文字は変わりません。上下に線があるかどうかといった違いですが、いかがでしょうか。
藤田委員	見出しとしてしっかり目につくので、線があったほうが良いと思ひます。
会長	<p>一つずつこのように詰めていくということでもよろしいでしょうか。</p> <p>「みんなで支えあう」という基本理念の部分はどうでしょうか。案1の方が、字が大きくて見やすいと思ひます。イラストの部分は、子どもとその周りの家族を強調するか、子どもを強調するかということのようですが、いかがでしょうか。</p>
藤田委員	個人的な意見ですが、パッと見たレイアウトのまともは案1の方が良いと思ひます。ただし、4人家族という構成は、母子家庭や父子家庭の方が見ることを考えると、どう捉えられるかという不安があります。おじいちゃん、おばあちゃんを入れて地域という雰囲気を作れば良いと思ひます。
会長	加藤委員、お願いします。
加藤委員	案2のイラストの上の子どもの足が切れています。
事務局	申し訳ございません。確認しておきます。
会長	その他はいかがでしょうか。
村瀬委員	パッと見たときに目に入ってきたのが案1だったので、計画で伝えたいことが表れているのだと思ひます。
会長	<p>先ほど藤田委員から、家族の多様性はこの表紙案からは伝わらないという意見がございました。</p> <p>その他はいかがでしょうか。</p>

高橋委員	案1の方がまとまっていると思います。先ほど、地域という言葉がありました。個人的には大切だと思います。子どもだけをクローズアップするより、大人もいる方が良いと思います。
会長	「みんなで支えあう」というのがメッセージになっていますね。
加藤委員	ひまわりで取り囲んだらどうでしょうか。ユニバーサルな感じにして、車椅子の子どもがいても良いと思います。地域、家族、子どもを周りに増やして楕円にするのはどうですか。
事務局	様々なご意見をいただき、ありがとうございます。基本は案1の構成で作成し直してまいります。
会長	基本的には案1の構成で、「みんなで支えあう」という考えやイラストを加えていただきたいと思います。 その他はいかがでしょうか。
田中委員	シンプルにアピールすることと、多様さを表現することは相反しますが、プロが上手に作ってくれると思うので、楽しみにしています。
竹門委員	あさぴーを案1に載せると良いと思います。
会長	尾張旭市の事業計画だとわかるので、大事なご指摘だと思います。最初に吸い寄せられたのは案2のあさぴーでした。その辺りも考えて、調整していただきたいと思います。よろしく願います。 なお、事前に配布されている資料1－4尾張旭市子ども・子育て支援事業計画案は、計画書として調整されておりますので、ご確認の程、よろしく願います。 この計画書案につきましては、これまでに皆さまと議論を行ってきました内容が計画書としてまとめてあります。 内容に関してご意見等ございましたら願います。
田中委員	資料P11「未婚率の推移（男性）」のグラフの数値が、素案から変わっています。
事務局	男性の表が女性の表に変わっておりました。申し訳ございません。
会長	素案の数値に修正をお願いいたします。
田中委員	資料P70「かけこみ110番など防犯対策の充実」の方向性が継続となっていますが、強化するべきだと思います。市民活動課でやっていますが、抜けている気がします。協力軒数も850軒あるのかどうかわかりません。もう一度確認するべきだと思います。
会長	これをもとに実行していただくので、850軒が生きた数字なのかどうかを確認して欲しいという要望でよろしいでしょうか。

事務局	そういった要望があったことを、担当課に伝えさせていただきます。
会長	ステッカーのようなものがあるのでしょうか。
田中委員	実際はややこしいです。「かけこみ110番」は市民活動課がやっていますが、警察がやっている「こども110番の家」というものもあります。それらを一つに出来れば良いのですが、市役所側のフォローがどうしても欲しいです。
石原委員	このことについては各小学校でも問題となっています。PTAが把握しようとしている学校もあるので、新しいデータを市としても把握していただき、学校側としてもデータをいただきたいです。その辺りの連携を密にしていきたいと思います。
藤田委員	毎年、PTAの地域活動部が「かけこみ110番」を確認しにいきますが、毎年担当者が変わるので、市から確認していただければ確実だと思います。
会長	現状がどれくらいの数字なのかが分からないということなので、確認していただきたいです。
石原委員	逆に、制度の存在を知らない方がいるので、やってもいいという話を聞くことがあります。取り組みの仕方については議論していただきたいです。
事務局	担当課に現状の方法を確認いたします。
会長	ありがとうございました。 それでは、次回は答申として報告しますので、よろしくお願ひします。 続きまして、議題(2)の利用定員の設定について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料2により説明)
会長	ありがとうございました。 ただ今の事務局の説明について、何かご質問があればお願いいたします。
高橋委員	現状の人数と大きく変わるのかということと、藤池保育園が160人と他の園より多いですが、どういう状況なのか教えていただきたいです。
会長	2点質問がありました。お答えいただいでよろしいでしょうか。

事務局	<p>現状の利用定員と大きく変わるのは、川南保育園でございます。川南保育園は本年度建て替えを行っており、瑞鳳小学校内で保育を行っております。瑞鳳小学校内においては、3歳未満児の保育を行っておりませんが、平成27年4月1日からは定員が30人増加いたします。</p> <p>また、藤池保育園におきましては、3～5歳児の教室が他の園よりも多いので、実態に合わせた定員を設定しております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。その他はいかがでしょうか。</p> <p>それでは、「その他」について、事務局より何かございますか。</p>
事務局	<p>次回の会議について、ご案内させていただきます。</p> <p>次回の会議は、3月18日（水）午後3時から、市役所3階の講堂2で予定しております。</p> <p>なお、次回の会議が、市から諮問のありました計画作成に係る最後の会議になりますので、当会議から市へ答申を行う予定でございますので、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>次回の会議が計画書の作成に関する最終の報告とのことですので、よろしくお願いいたします。</p>
加藤委員	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>結局、来年度の待機児童はどれくらいになるのでしょうか。兄弟ばらばらに入所してくるなど、子どもたちがこんなに入れないので経験するのは初めてです。働く母親にとってはきついと思います。どれくらい待機されるのか、おおよその見込みがあれば教えていただきたいです。兄弟ばらばらで通うのは不自然なので、心が痛みます。</p>
事務局	<p>待機児童に関しましては現在調整中でございますので、人数はまだ分かっておりません。数字としましては、カウントの仕方が変わりますので、相当数の数字になると思われます。認定を受けて入らなかった方は待機児童と認定されるのではないかと思います。</p>
加藤委員	<p>第一希望でも入れないというのがあるので、すごい話だと思います。</p>
事務局	<p>高橋委員の質問と被りますが、従来通りのカウントの仕方に求職中の待機の方を加算するという方法は、先日国から示されました。その辺りの影響がどのくらい出るのかはまだわかりませんが、待機児童の対象者は増えます。</p>
会長	<p>カウントの仕方はありますが、かつてないくらいに不自然な入所をする状況があるとお伺いしました。現実はどうなのでしょうか。</p>

加藤委員	調整もすごく大変です。同じ点数の方には平等にしなければいけません。その作業にすごく時間がかかります。しかし、4月からいけない人はどうするのでしょうか。兄弟がばらばらというのは、悲しいです。入園面接をしながらそのような話を聞いています。
秋田委員	私は働きながら保育園に2人子どもを入れていましたが、5年前で兄弟ばらばらでした。3歳未満児は定員が限られているので年少からでした。 学童にもたくさんのお誘いがありましたが、施設基準ができたので、守らなければなりません。全員の方を受け入れることができないので、待機児童となってしまって、お詫びしました。国が良くしようと思っても、保育環境を改善することで足かせをつけてしまっていると思います。
加藤委員	子どもにとっては、環境が変わってしまうことは悲劇です。その部分から無くせるようなことが何かできないかと思います。慣れた先生、慣れた環境から変わり、また一から取り込んでいかなければなりません。
会長	保護者の声を代弁していただきました。初年度における実態があるということを再確認しました。 ニーズ調査から出発して、計画を作ってきましたが、どのように評価するのかということもございますので、進捗を確認して改善していきます。その時点で最大限努力していただきたいと思います。答申を強烈にするのはどうでしょうか。
事務局	何かございましたら、是非書き換えていきたいと思っています。
会長	委員としての意見が伝わればと思います。
高橋委員	待機児童について、市ではどのように評価しているのですか。

事務局	<p>待機児童解消のための答えとしては、それだけ受け入れられるキャパシティを作れば良いわけですが、現在、市では川南保育園の建て替えを行っております。元々は内装と外装の一部を修繕する予定だったものを急遽建て替えて定員を増やすこととなりました。しかし、それをやろうとしますと、建物の本体工事だけで4億円程かかったりします。次には、あたご保育園や柏井保育園など古い保育園もございますが、敷地も狭く送迎スペースも狭いので、それを壊して建て替えることとなりますと、いろいろな条件が揃わないと難しいと思います。川南保育園はたまたま隣の瑞鳳小学校に空き教室があり、教育委員会の協力もいただいて、小学校内で保育を行っておりますが、他の保育園にも必ずしもそういった条件があるとは限りませんので、根本的なことを考えていかなければなりませんし、それに対する必要なお金を考えなければなりません。また、市町村が保育園を建てる場合には国は補助金を出してくれません。</p> <p>あとは保育士の確保が必要となりますが、現状は、正規の保育士が約100人、それに加えて臨時職員が約200人おりますが、理想としてはすべて正規の職員でまかなえることができると思っております。</p> <p>待機児童問題に関しては、市の内部でも検討はしておりますが、すぐにお示しできるものがあるわけではございません。ご意見をいただきながら続けていきたいと思っております。</p> <p>なお4月から、こども課のこども未来係を少し大きくいたしまして、こども未来室が子育て支援に関する特定な課題について検討していきます。また、幼稚園に関する事務については、今年度まで教育委員会で事務を行っておりましたが、平成27年度からは、こども課で事務を行ってまいります。すぐに形にはなりませんが、市の方も頑張っておりますので、ご協力をお願いいたします。</p>
会長	<p>予定していた議題は以上でございます。</p> <p>本日は、長時間に渡り慎重にご審議いただきありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、第8回尾張旭市子ども・子育て会議を閉会いたします。</p> <p>皆さま議事進行にご協力いただき、大変ありがとうございました。</p>